

2026年8月24日

一般財団法人JR東日本文化創造財団

MoN Takanawa: The Museum of Narratives

江戸時代の「月待ち」が、時空を超えて現代の高輪へ。

お月見の名所・高輪に伝わる「二十六夜待ち」を現代に再解釈する28日間
「MoON MONTH (ムーン・マンス) 一月を待つ月」9月7日(月)より
MoN Takanawaで開催



一般財団法人JR東日本文化創造財団が運営する「MoN Takanawa: The Museum of Narratives (モン タカナワ: ザ ミュージアム オブ ナラティブズ)」(以下、MoN Takanawa)は、TAKANAWA GATEWAY CITY (JR東日本・高輪ゲートウェイ駅)と共催し、高輪の街全体を舞台に、「月待ち(つきまち)」をテーマとするイベントを展開します。

MoN Takanawaでは、2026年9月7日(月)から10月4日(日)までの28日間、期間限定プログラム「MoON MONTH (ムーン・マンス) 一月を待つ月」を開催します。江戸時代、高輪は月の名所として知られ、旧暦7月26日の夜には、海から昇る細い月を待つ「二十六夜待ち(にじゅうろくやまち)」を楽しむため、多くの人々が集いました。月を待ちながら人々が語り、食や酒をともにする、そんな高輪にかつて息づいていた「月待ち」の文化を、現代に再解釈します。期間中は、月をテーマにしたアートや食、音楽、体験型プログラムなどをMoN Takanawaの各所で展開。変わりゆく街で、変わらない月を待つ。かつてこの地で親しまれた文化を受け継ぎながら、新たな物語を重ね、100年先へと文化をつないでいきます。

【「MoON MONTH」プログラム・イベント詳細】

「MoON MONTH」期間中、MoN Takanawaでは、江戸時代の賑わいを想起させるさまざまなイベントを開催します。その中から、目玉となるプログラムをご紹介します。没入型のプラネタリウムに、日本古来のお酒「どぶろく」の振る舞い酒、餅つきに加えて、江戸時代の扮装をした人々が館内を練り歩き、会場と街全体を盛り上げます。人気漫画「宇宙兄弟」の原作者によるトークイベントや、植物から手作りしたインクで月を描くワークショップ、天体観測も実施予定。館内のカフェ・レストランでは、数量限定で「月待ちみたらしスムージー」や「Moonカクテル」などの限定メニューも期間限定で登場します。



月待ちみたらしスムージー

Harvest Moon (アルコール) Pear Moon (ノンアルコール)

MoN Park Cafe by Spiral

MoN Garden Restaurant “LAUBE”

※数量限定、なくなり次第終了となります。

■ 江戸の星空を歩く、没入型プラネタリウム「月待ちの宵」



江戸時代の星空を再現し、床面に映し出す没入型のプラネタリウムです。まるで江戸の星空を歩くようなひとときをお楽しみいただけます。初代歌川広重の浮世絵にも描かれた、高輪に伝わる「二十六夜待ち（にじゅうろくやまち）」の歴史に触れながら、江戸時代の人々が大切に「月を待つ時間」の豊かさを体感できます。17:00以降の回は、ワンドリンク付きのセットチケットを販売。プログラム制作はプラネタリウムクリエイターの大平貴之、ナレーションは声優・俳優として活躍する津田健次郎が担当します。

プログラム詳細

開催期間：2026年9月9日（水）～9月26日（土）※9月12日（土）は休演

開催時間： **昼の部 | 11:00～17:00（各回30分／上映20分）**

夜の部 | 17:00～20:00（上映20分／上映終了後は自由退場）

17:00（17:15開演）、18:00（18:15開演）、19:00（19:15開演）

※昼の部のみベビーカーでの入場可

※夜の部のみワンドリンクあり（上映内容は変更なし）

※夜の部では上映開始前にドリンクを配布いたします。上映時間をすぎるとドリンクの配布ができない場合がございますのでご注意ください。

会場：MoN Takanawa 2F Box300

制作：大平貴之（大平ラボ）

ナレーション：津田健次郎

企画プロデュース：小山薫堂

参加費：（未就学児無料／当日券あり）

【昼の部】500円（税込）

【夜の部】1,500円（税込）ワンドリンク付（アルコールまたはソフトドリンク）

チケット販売期間：8/24（月）～9/26（土）

※MoN TakanawaチケットおよびMoN Takanawa公式プレイガイド Feverにて販売。

※空席がある場合のみ、現地で当日券を販売します。

プログラム詳細：<https://montakanawa.jp/programs/tsukimachinoyoi/>

【スペシャルイベント】

9月9日（水）と13日（日）夜の部チケット購入者限定者で、ワンドリンクに加え、待つ時間を豊かにする「月待ちの一杯」を提供します。

- ・9月9日（水）：高橋酒造「待宵」
- ・9月13日（日）：都農ワイン「プレステージ シャルドネ 都農」

■ 時空往来：江戸・高輪二十六夜待（たかなわにじゅうろくやまち） スペシャルイベントー江戸のひとが、やってくる。



期間中、「二十六夜待ち」をイメージしたフォトスポットを2Fエントランスに展示し、来館される皆様をお迎えします。月見の名所として華やいだ江戸高輪の風情が時空を超えて蘇ります。9月13日（日）のみ、まるで江戸時代にタイムスリップしたかのような本格的な時代衣装を身に纏った役者陣が、館内を賑やかに練り歩きます。月見客で賑わった往時の高輪に思いを馳せながら、江戸と現代が交差するひとときをお楽しみいただけます。

プログラム詳細

開催期間：2026年9月9日（水）～9月27日（日）

※9月13日（日）13:00-19:00 スペシャルイベントー江戸のひとが、やってくる。

開催時間：10:00～21:00 ※開館時間に準ずる

会場：MoN Takanawa 2Fエントランス付近（入場無料）

企画制作・メイク・かつら：NHKアート

衣装：東宝コスチューム

持道具・装飾：テレフィット

大道具：東京スタッフ

造園：グリーンワイズ

出演者：クロキプロ

参加費：無料（事前予約不要）

プログラム詳細：<https://montakanawa.jp/programs/jikuoorai/>

■ 江戸の月夜の物語 ～喜多川歌麿「品川の月」と高輪の二十六夜待ち～



本展では、江戸時代中期に活躍した、美人画の第一人者として世界的にも有名な浮世絵師「喜多川歌麿」の代表作品である肉筆画『品川の月』を、大手精密機器メーカー・キヤノンと特定非営利活動法人 京都文化協会が共同で行っている社会貢献活動「綴（つづり）プロジェクト」の最先端の撮影・画像処理技術によって超高精細にデジタルデータ化し、イマーシブ体験型展示を展開します。約百畳の畳の上で眺める巨大スクリーンには、生き生きと描かれた20人が織りなす、江戸の一夜の物語を映し出します。お座敷から眺める静かな観月から、海岸での屋台の灯や海に浮かぶ遊覧船でごった返し、人々が熱狂する月見イベントへと激変した江戸の月見の変遷を辿るプログラムです。

3Fにある館内の「Sun Lab（サンラボ）」スペースでは、歌川広重の作品と共に当時の月待ちの風俗を紹介。同フロアにある「Land Lab（ランドラボ）」スペースでは、喜多川歌麿の『品川の月』に登場する20人の一人ひとりを取り上げた「20人のナラティブ（物語）」を窓面に貼る半透明のグラフィックシートで表現するほか、「綴（つづり）プロジェクト」の活動内容、『品川の月』を所蔵するアメリカ・フリーア美術館の歴史背景についても、パネル展示します。

プログラム詳細

開催期間：2026年9月9日（水）～10月4日（日）

開催時間：10:00～21:00 ※開館時間に準ずる

※開館時間に準ずる、ほかイベント実施時にはクローズする場合がございます。

会場：MoN Takanawa 4F Tatami、3F Sun Lab、3F Land Lab

主催：MoN Takanawa: The Museum of Narratives

企画：キヤノンマーケティングジャパン株式会社コンテンツプロモーションセンター

アートディレクション：キヤノン株式会社総合デザインセンター

監修：スミソニアン国立アジア美術館

協力：綴プロジェクト（キヤノン株式会社、特定非営利活動法人 京都文化協会）

参加費：無料（事前予約不要）

プログラム詳細：<https://montakanawa.jp/programs/moonatshinagawa/>

週末を中心に、「月」を楽しむ多彩なイベントが登場

MoON MONTH期間中は、週末を中心に、トークイベントやワークショップ、食文化体験など、「月」をテーマにしたさまざまなイベントを開催します。

■「高輪に、月の景色がよみがえる。－月見畳 公開制作－」

月待ち月間のオープニングイベントとして、日本の伝統文化をコンセプトにしている展示スペース「Tatami」に、月をテーマにしたデザイン畳が新たに登場します。海の波を表す伝統模様・青海波（せいがいは）と“二十六夜待ちの月”を描いた月見畳です。会場では、伝統文化と新しい技術の融合を目指し、デザイン性の高い畳を手がける畳職人・山田憲司氏による制作過程を公開するほか、一部参加型のコンテンツを実施予定です。新しい畳の上に、かつての高輪の月の景色がよみがえる瞬間をお楽しみいただけます。



プログラム詳細

開催期間：2026年9月6日（日）

開催時間：13:30-14:30

会場：MoN Takanawa 4F Tatami

主催：MoN Takanawa: The Museum of Narratives

デザイン制作：山田 憲司（ジャパニーズフロア）

プログラム詳細：<https://montakanawa.jp/programs/tsukimidatami/>

■ J-WAVE特別番組「BEYOND THE MOON」公開収録

9月12日（土）の日本の記念日「宇宙の日」と新月が重なる夜、J-WAVEの特別番組をMoN Takanawaにて収録。江戸時代、高輪で人々に親しまれた観月の文化をテーマに、月見や二十六夜待ち、月の見え方や暦との関係など紹介しながら、人々が古くから月に寄せてきた想いを紐解くトークイベントです。MoN Takanawaにて、歴史や天文学、文化を織り交ぜ、高輪の歴史的な景観と現代の観月体験をつなぐプログラムを公開収録します。本イベントはJ-WAVE会員招待のほか、一般枠については当日10:00～2Fエントランスにて整理券配布をいたします。



プログラム詳細

開催期間：2026年9月12日（土）

開催時間：19:00～20:00

会場：MoN Takanawa 6F 月見テラス ※雨天時はレストラン「ラウベ」内に変更します。

パートナー：J-WAVE

ナビゲーター：長井優希乃

ゲスト：大木 伸夫 (バンドACIDMAN ボーカル・ギター)、堀口茉純 (お江戸ル、歴史作家、時代劇女優、江戸風俗研究家)

参加費：無料

プログラム詳細：<https://montakanawa.jp/programs/beyondthemoon/>

参加方法：

1. J-WAVEリスナー会員ご招待枠 【申込締切：8月30日】

<https://www.j-wave.co.jp/jlc/jme/entry/enquete/beyondthemoon2026>

2. 一般枠

当日10:00より、2階エントランスにて当日券を配布（予定）

※予定枚数に達し次第、配布終了となります。

■ 『宇宙兄弟』 × 月見酒「お月見トークライブ」

宇宙を題材にした人気漫画「宇宙兄弟」の作者・小山宙哉と、著名な日本酒の造り手である佐藤祐輔（新政酒造）、松本日出彦（日々醸造）、宇宙兄弟を手がけた編集者・佐渡島庸平の4人がMoN Takanawaに集結し、トークライブイベントを行います。漫画や酒造り、月と宇宙、ものづくりについて語り合う、中秋の名月の一夜です。当日はコラボレーションした日本酒の試飲を一口ずつお楽しみいただけます。

プログラム詳細

開催期間：2026年9月25日（金）

開催時間：18:30～※20:00終了予定（18:00 開場）

会場：MoN Takanawa 4F Tatami

主催：株式会社コルク

共催：MoN Takanawa: The Museum of Narratives

出演：『宇宙兄弟』作者・小山宙哉、新政酒造代表・佐藤祐輔

日々醸造代表・松本日出彦、株式会社コルク代表・佐渡島庸平

参加費：3,850円（税込） 9月9日(水)20:00からチケット販売開始
予定（事前販売）

チケット販売URL：<https://2026-iwaisake.peatix.com>



■ 月の色 | Moon Palette（ムーンパレット）

植物インクで月をテーマに描くドローイングワークショップ

古くから親しまれてきた植物を使った自然の色。「二十六夜待ち」にちなみ、植物から手作りした様々な色のインクで「月」をテーマに描きます。青空の下、白い紙を広げ、思い思いの色で絵を描くことができます。

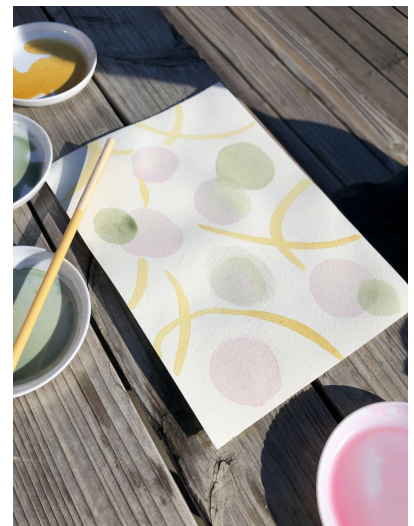
プログラム詳細

開催期間：2026年9月13日（日）

開催時間：16:00～17:30

会場：MoN Takanawa 屋上 MoNファーム ※雨天時はランドラボにて実施

企画協力：mitosaya薬草園蒸留所、株式会社Syneco



参加人数：12名程度（事前予約制）

参加費：一般 2,000円/小学生以下 1,000円（事前販売・当日券）※未就学児無料

プログラム詳細：<https://montakanawa.jp/programs/moonpalette/>

■ 天体望遠鏡で見る、江戸と現代を繋ぐ月 ～星空案内人と巡る高輪の宙～

「多くの方が星空を楽しみたくなる」時代や文化を作り出すことを目指し、創業77年を迎える光学機器メーカー「ビクセン」社製の天体望遠鏡を用いた「月」を楽しむ天体観測プログラムです。

プログラム詳細

開催期間：2026年9月23日（水・祝）

開催時間：開催時間未定のため、詳細はサイトをご確認ください。

主催：MoN Takanawa: The Museum of Narratives

企画制作・運営：株式会社ビクセン

会場：MoN Takanawa 屋上 ※雨天時は変更の可能性があります。

参加人数：参加人数未定のため、詳細はサイトをご確認ください。

参加費：有料（事前予約制・当日販売）

プログラム詳細：<https://montakanawa.jp/programs/telescope2026/>



■ 「江戸高輪・月待ち餅つき ～見て・ついて・味わう～」

9月12日（土）と9月13日（日）の2日間限定で、“古き良き伝統文化を後世に残す”コンセプトで活動する「江戸餅つき屋」が出演し、本格的な木臼と杵でお餅つきを体験できる「江戸高輪・月待ち餅つき（つきまちもちつき）」を開催します。つきたてのお餅を食べながら、MoN Takanawaで二十六夜待ちに想いを馳せるひとときをぜひお過ごしください。数量限定にて配布いたします。

プログラム詳細

開催期間：2026年9月12日（土）～9月13日（日）



開催時間：16:30～

会場：MoN Takanawa 2F エントランスロビー

協力：江戸餅つき屋

参加費：無料

■「高輪どぶろく」振る舞い酒

会期中、9月12日（土）のみ限定で、港区芝にある酒造「東京港酒造」とコラボレーションした、東京の水と米、麴のみを使用した純米の「どぶろく」の振る舞い酒を行い、江戸・高輪の月待イベントを盛り上げます。数量限定にて配布いたします。

プログラム詳細

開催期間：2026年9月12日（土）

開催時間：12:00～16:00 ※なくなり次第終了

会場：MoN Takanawa 4F Tatami

参加費：無料



■「くらしのまにまに」連携展示

8月 郷土の熱狂 くらしのまにまに ーたたみの上の12ヶ月ー

「月見のMoN（紋）切り行灯ワークショップ」の作品展示

MoN Takanawaの約100畳のスペース「Tatami」で、日本の四季を愛でるマンスリープログラム「くらしのまにまに」。8月のテーマは「祭」です。高輪の月見の風習・二十六夜待ちに思いを馳せ、伝統の“紋切り”で幻想的な「月見行灯（つきみあんどん）」を作るワークショップを開催します。本ワークショップでの作品は、「MoON MONTH（ムーン・マンス）一月待ちの月一」の期間中に「サンラボ」を彩る展示作品として飾られ、期間中もみなさまにお楽しみいただけます。ゆらめく灯りと熱狂をお楽しみください。

プログラム詳細

展示場所：MoN Takanawa 3F サンラボ（予定）

※展示場所は、予告なく変更となる場合がございます。



【ワークショップについて】

開催期間：2026年8月29日（土）～30日（日）

開催時間：12:30～ / 15:30～

会場：MoN Takanawa 4F Tatami

主催：MoN Takanawa: The Museum of Narratives

協力：下中菜穂 / キヤノンマーケティングジャパン株式会社

所要時間：約90分

対象：ハサミを使える方（未就学児は保護者同伴）

持ち物：必要に応じて眼鏡

参加費：2,300円（事前予約制）

プログラム詳細：https://montakanawa.jp/programs/manimani_august2026/

■ TAKANAWA GATEWAY CITY では「高輪つきまち」開催

TAKANAWA GATEWAY CITYでは、2026年9月7日（月）から9月13日（日）までの期間、「二十六夜待ち」になぞらえ、100年以上前から変わらぬ月を待ち、100年先を想い楽しむ、グルメと伝統文化・体験、アートが出会う新しいスタイルの月待ち文化体験イベント「高輪つきまち」を開催。

詳細はこちら：<https://www.takanawagateway-city.com/tsukimachi/>



<イベント概要>

■会場：TAKANAWA GATEWAY CITY 全域

- ・ Gateway Park、・ Gateway Studio、・ NEWoMan TAKANAWA、
- ・ MoN Takanawa: The Museum of Narratives（以下 MoN Takanawa） 、
- ・ JW マリオット・ホテル東京

■日時：2026年9月7日（月）～9月13日（日）

- 主 催： 東日本旅客鉄道株式会社
- 共 催： 一般財団法人 JR 東日本文化創造財団
- 協 力： 株式会社ルミネ、一般社団法人 高輪ゲートウェイエリアマネジメント

■伝統からマンガ、音楽、宇宙まで。文化の実験的ミュージアム

MoN Takanawa: The Museum of Narrativesについて

The Museum of Narratives の頭文字「MoN」には、新たな自分と出会う新しい世界への「門」、そして、未来を考え創造するための「問(問い)」の2つの意味が込められています。



Photo: Yasuyuki TAKAKI

公式ウェブサイト：<https://montakanawa.jp/>
公式Instagram：<https://www.instagram.com/montakanawa/>（@montakanawa）
今後の詳細情報は、公式ウェブサイトおよびSNSを通じて順次発信します。

名称	MoN Takanawa: The Museum of Narratives
事業者	一般財団法人JR東日本文化創造財団
敷地面積	7,977.31 ㎡
延床面積	28,952.55 ㎡
高さ	44.98 m
階数	地上6階・地下3階

主用途	展示場、ホール、飲食施設 等
設計者・デザイナー	品川開発プロジェクト（第Ⅰ期）設計共同企業体 外装デザインアーキテクト／隈研吾建築都市設計事務所

■一般財団法人JR東日本文化創造財団について

当財団は「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」の企画運営を通して、日本の文化創造に貢献するための組織として2022年4月1日に設立されました。「100年先へ文化をつなぐ」をミッションに、これまで育まれてきた伝統や文化に現代の価値観やテクノロジーを融合させ、より広い時間軸と国内外のパートナーとともに国際的な共創、交流、発信を行っていきます。

※「MoN」、「MoN Takanawa」並びに「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」は、一般財団法人JR東日本文化創造財団の登録商標です。

<本件に関する問い合わせ先>

MoN Takanawa: The Museum of Narratives PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内）

担当：鈴木結理（080-4652-1713）／佐藤若菜（080-4652-1425）／飯塚／阿部

MAIL：montakanawa_pr@ssu.co.jp